

健幸いわたし いきいき長寿プラン

磐田市第10次
高齢者保健福祉計画

第9期
介護保険事業計画

概要版

やさしさ ふれあい 支え合いのまちづくり ～ 安心できる 健幸長寿社会の実現 ～

高齢期においても多様性を尊重され、互いを思いやり、支えたり支えられたりしながら住み慣れた地域でその人らしい暮らしが持続できることを目指し、その思いを基本理念に表しています。

サブタイトルには、高齢になっても安心して健幸に暮らせる社会を目指すことを表しています。

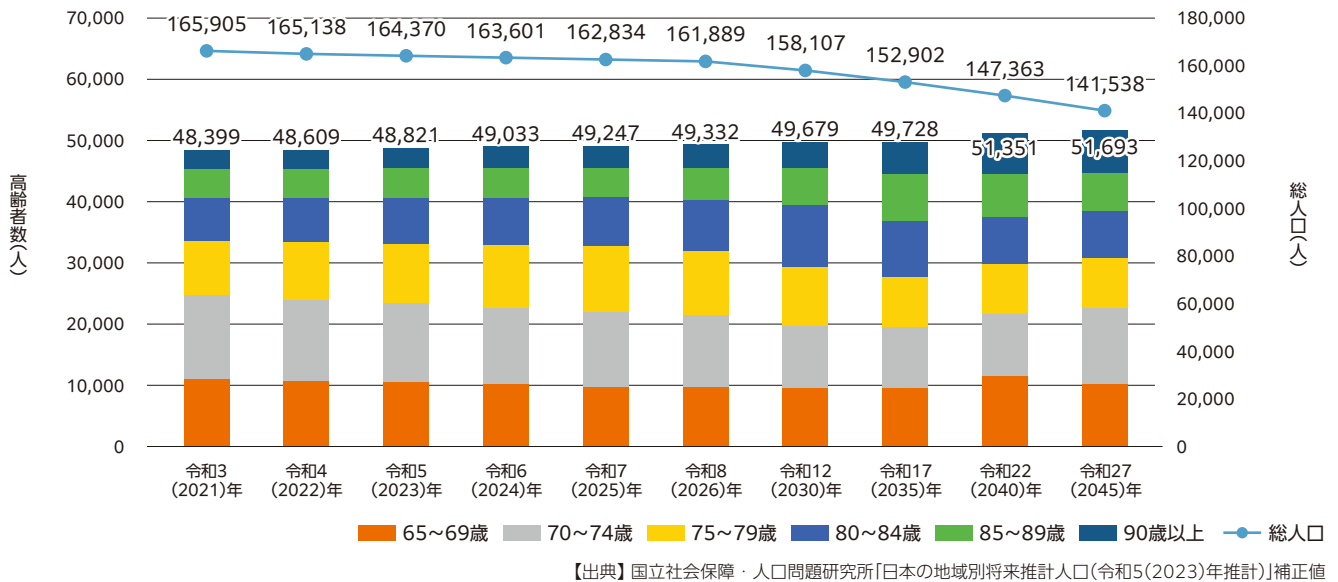
※「健幸」とは、「健やか」と「幸せ」を組み合わせた造語です。「生涯を通じて健康かつ生きがいを持ち、豊かで幸せな生活を営んでいる状態(ウェルビーイング)」を表しています。

令和6(2024)年度～令和8(2026)年度
磐田市

磐田市の総人口と高齢者の推移と推計

本市の総人口は、平成20(2008)年の176,192人をピークに減少に転じています。総人口が減少する中で、高齢者人口は増加し続けており、令和22(2040)年には50,000人を超えるとともに、介護ニーズの高い85歳以上人口が急速に増加することが見込まれます。

【磐田市の総人口と高齢者の推移と推計】

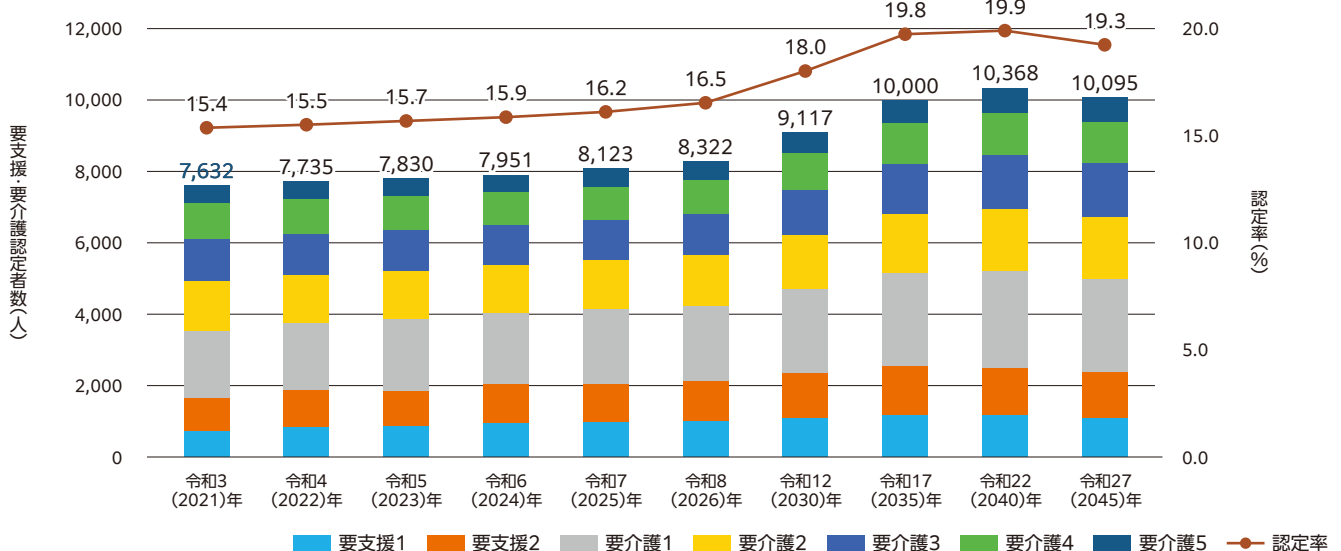


要介護・要支援認定者数、認定率の推移

認定者数及び認定率は、年々上昇する傾向にあります。

認定者数は増加傾向にあり、2040年度(令和22年度)にピークの10,368人となる見込みです。2035年度(令和17年度)には認定率が20%に迫り、その後も近い水準で推移する見込みです。

【要介護(支援)認定者数、認定率の推移】



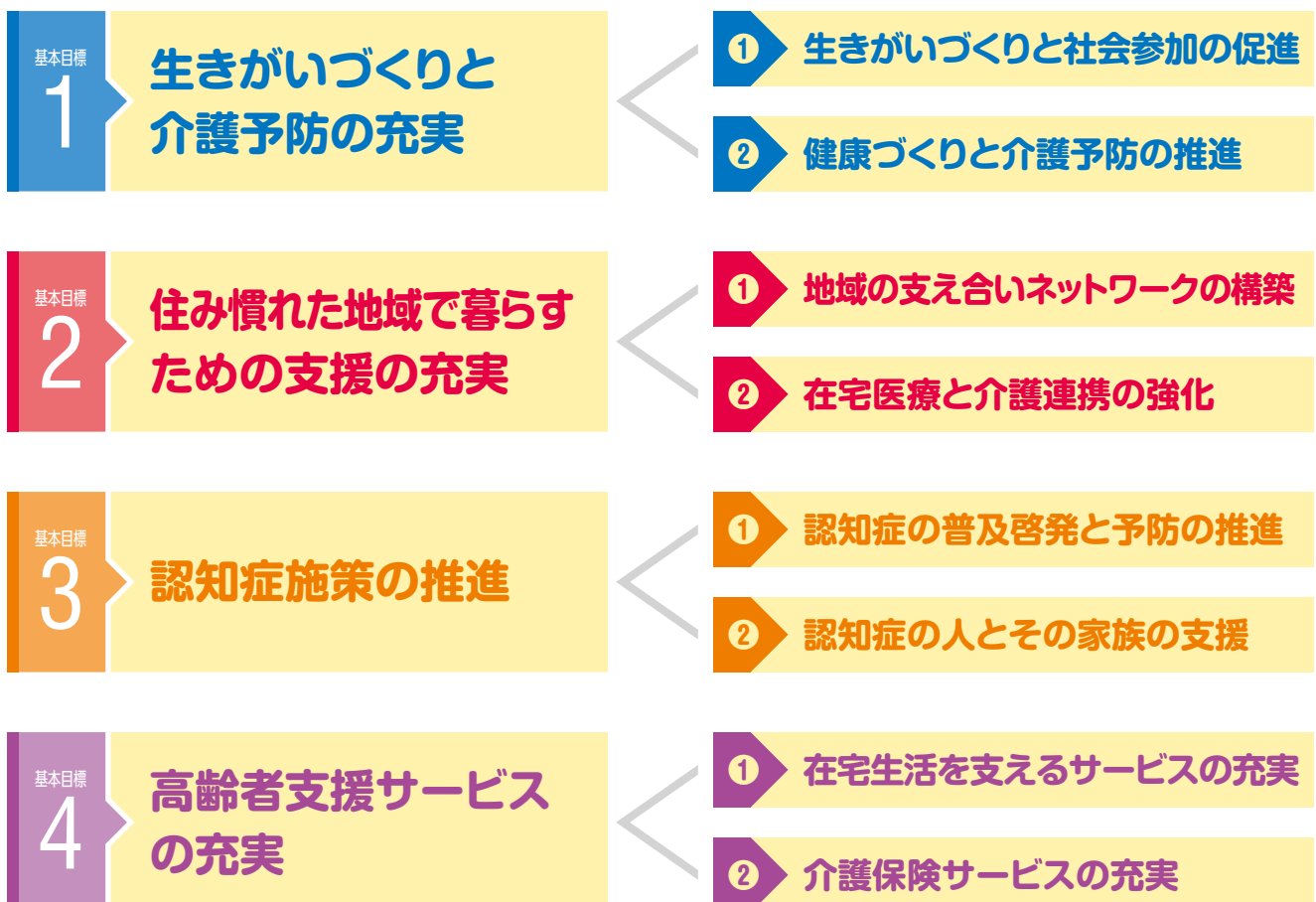
計画の目標値

指標名		現状(R4年度)	目標値(R8年度)	指標の定義
高齢者の幸福感		70.2%	100%	高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査 一般高齢者・事業対象者・要支援認定者(0~10点のうち6点以上と回答した人)
	県	71.1%	—	
平均自立期間	男	80.8歳	81歳	要介護2以上になるまでの期間
	女	84.8歳	85歳	

施策の体系

基本目標

基本施策



1 生きがいづくりと介護予防の充実

生きがいを持ち、充実した日常生活をおくるために、高齢者が様々な分野で多世代とともに活躍できるよう、健康づくり施策を進めるとともに、住民主体の介護予防活動を支援します。

基本施策

施策

1 生きがいづくりと社会参加の促進

通いの場支援の推進

社会参加の促進

健康づくりの推進

2 健康づくりと介護予防の推進

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進

介護予防・日常生活支援総合事業の強化

フレイル・介護予防のためには

フレイル予防

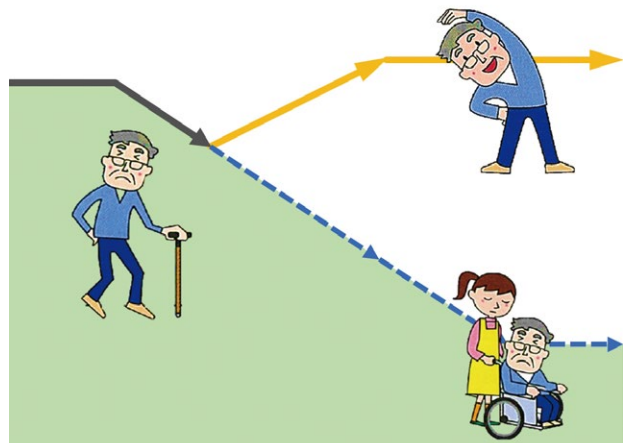
フレイルとは虚弱のことで、健康長寿の3要素「運動」「食生活」「社会参加」を意識することで予防することができます。

リエイブルメント（もとの生活を取り戻す）

フレイルは改善することができます。専門職や地域の力を借りながら、フレイルになる前の自分らしい生活を取り戻しましょう。連絡はお近くの地域包括支援センターへ。



自分でできるようになる



必要な人に必要な支援を

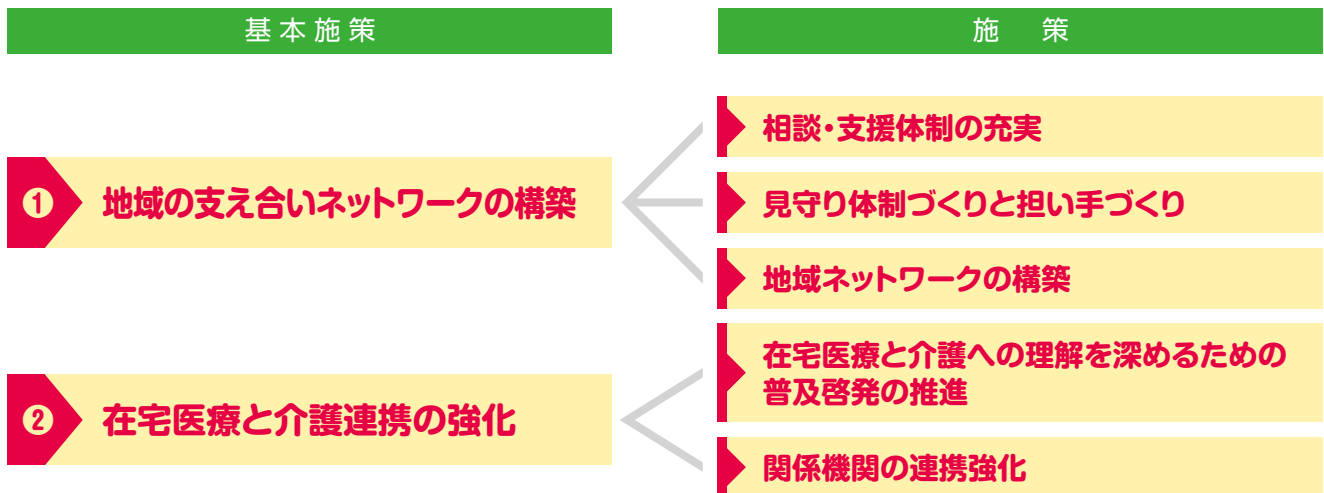
人それぞれの生きがい

散歩の習慣やご近所さんとのおしゃべり、地域の見守り活動、自治会の役員など、人それぞれの「生きがい」があります。生きがいは自分自身の幸福感と誰かの役に立つことに繋がっています。

元気でいられる期間を延ばすために「生きがい」を持って生活しましょう。

2 住み慣れた地域で暮らすための支援の充実

住み慣れた地域で自分らしく生活するために、地域の支え合いネットワークの充実を図るとともに、医療や介護サービス・看取りなど終末期医療に関する知識を普及・啓発します。



人生の終わりまで、あなたはどのように過ごしたいですか？

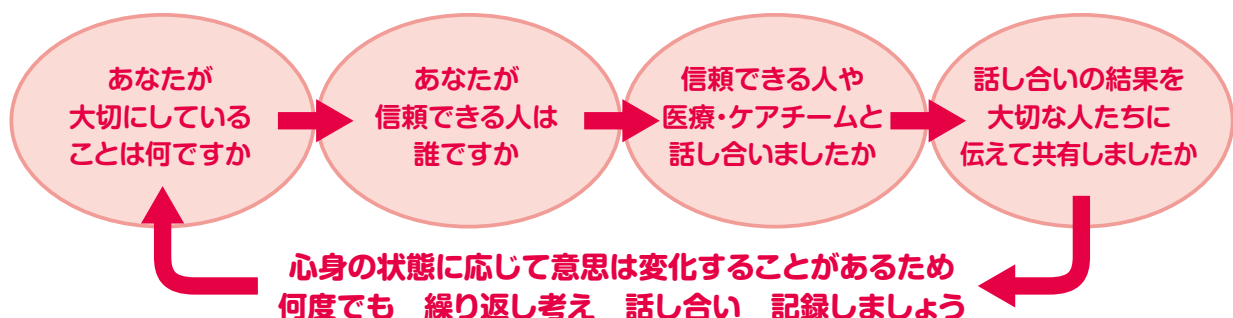
人生会議 ～アドバンス・ケア・プランニング (ACP)～ と終活ノート

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。自分が望む人生最終段階の医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいることを、家族など信頼する人と繰り返し話し合い、記録しておきましょう。

終活ノートは、i プラザ、地域包括支援センター、市民相談センター(市役所本庁舎1階)で無料配布しています。



話し合いの進め方



3 認知症施策の推進

地域の人たちが認知症について正しく理解し、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができよう、普及啓発を推進するとともに、認知症の人及びその介護をする人への支援を推進します。

基本施策

施策

① 認知症の普及啓発と予防の推進

認知症への理解を深めるための普及啓発の推進

認知症予防の推進

② 認知症の人とその家族の支援

認知症の人への支援の推進

認知症介護者への支援の推進

認知症の人が地域で安心して暮らすために

認知症サポーターは認知症の人の応援者

認知症サポーターとは認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を暖かい目で見守り、できる範囲で手助けする応援者です。

認知症サポーター養成講座を受講して認知症について正しく理解してみませんか。講座の受講については、市又は地域包括支援センターへお問い合わせください。



いわた 認知症安心ハンドブック

認知症の人が状態に応じて、いつどのような医療・介護サービス等を受ければよいのかを示したものです。

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよりよい環境で暮らし続けるという考え方を基本として作成しています。

4 高齢者支援サービスの充実

在宅での生活を支えるためのサービスの提供を進めるとともに、支援や介護を必要とする人が各種高齢者支援サービスを安心して利用できるよう周知を進めます。



安心して住みやすい環境

デマンド型乗合タクシー「お助け号」

通院や買い物など、日常生活の移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシー「お助け号」を運行しています。自宅と指定の施設の間を、予約のあった利用者を乗り合わせながら運行します。

自主的に運転免許証を返納し、運転経歴証明書の交付を受けた65歳以上の方に対して、運賃の割引があります。利用者登録を希望される方は自治デザイン課にお問い合わせください。



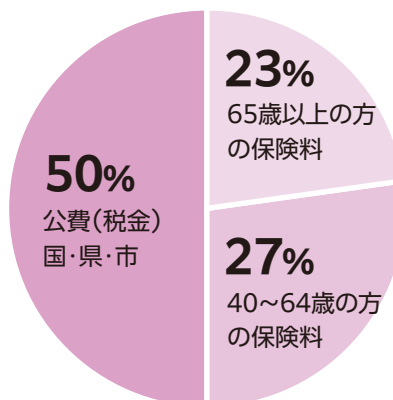
第9期保険料基準額の算定

令和6～8年度
介護保険に必要な額 **10,468,700千円**

令和6～8年度
被保険者数 **159,290人**

65歳以上の方の
介護保険料基準額(月額) **5,600円**

※介護保険の費用は、65歳以上の方の介護保険料だけでなく、公費(税金)と40～64歳の方の保険料からまかなわれています。



地域で行われる「やさしさ ふれあい 支え合い」活動

地域では、住民同士の支え合いによる様々な活動が各地で行われています。支える側・支えられる側の関係をこえた地域の一人ひとりの多様性を尊重した活動は、「地域包括ケアシステム」「地域共生社会」を実現するために大切な役割を担っています。

活動に興味のある方は、市社会福祉協議会(Tel 0538-37-9617)までお問い合わせください。

居場所・通いの場

自治会の福祉委員などの協力によって、地域の子育て・高齢者サロンが開催されています。高齢者の閉じこもり・介護予防や子育て親子支援を目的にレクリエーション活動に取り組みます。

また、有志の方々による公会堂や交流センター、空き店舗を活用した居場所づくりも盛んです。



生活支援ボランティア等の活動

南御厨地区の地域づくり協議会で行う移動支援や社会福祉協議会のせいかつ応援倶楽部で行う家事支援など、暮らしの困りごとを住民の力で支え合う取り組みが行われています。



南御厨地区の移動支援

左の写真は、岩田地区社協の配食活動(れんげ給食サービス)の様子で、手作りのお弁当を高齢者の方のお宅へ直接配達することによって安否確認を兼ねた見守り活動を行っています。

磐田市老人クラブ連合会 (愛称:シニアクラブ磐田市)の活動

シニアクラブでは、高齢者が心身の健康を保持するためグラウンドゴルフ大会やレクリエーションダンス交流会をはじめ、下校児童の見守り活動や絵手紙、将棋などの様々な活動を行っています。シニアクラブに入って同じ趣味の友人を増やしてみませんか。



健幸いわた いきいき長寿プラン

磐田市第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画

発行年月：令和6(2024)年4月

発行：磐田市健康福祉部福祉政策課・高齢者支援課

〒438-0077 静岡県磐田市国府台57番地7 ^{あい} i プラザ(総合健康福祉会館)内
福祉政策課 Tel 0538-37-4831 Fax 0538-37-6495
高齢者支援課 Tel 0538-37-4869 Fax 0538-37-6495